



菊武学園フラッシュニュース

名産大初の学生プロ選手 ボクシング高山 プロ復帰



名古屋産業大学ボクシング部の高山勝成選手(36)(3年)＝写真中央は、3月10日、プロボクサーとして復帰することを宣言しました。名産大初の学生プロアスリートの誕生です。

高山選手は名産大に入学と同時にアマ転向を表明、東京五輪を目指していましたが、昨年8月の五輪予選で敗退し引退を宣言していました。しかし、「プロのリングの忘れ物を奪還したい」と、2月1日から復帰をめざして本格的な練習を再開していました。3月17日にプロライセンスも取得、「あと2年間は頑張りたい」と、闘志を燃やしています。

高山選手は名産大に入学と同時にアマ転向を表明、東京五輪を目指していましたが、昨年8月の五輪予選で敗退し引退を宣言していました。しかし、「プロのリングの忘れ物を奪還したい」と、2月1日から復帰をめざして本格的な練習を再開していました。3月17日にプロライセンスも取得、「あと2年間は頑張りたい」と、闘志を燃やしています。

地域の人材育成をめざし 名産大とNPOが連携協定



(協定を結んだ高木理事長と南田代表理事)

名古屋産業大学とNPO法人G-net(南田修司代表理事 岐阜市)は1月29日、地域社会の未来を担う人材育成を目的に連携協定を結びました。

G-netは、東海地方を中心に長期実践型インターンシップをはじめ中小企業の人材育成、地域活性化を積極的に行っています。

今回の協定締結により今後、地域の中小企業との連携促進や、外部講師招へい、シンポジウムの共同開催などを通して、名産大の「職業教育」「実践教育」の推進に向けて手を結ぶことになりました。

音楽、ダンスなどに熱演 菊華アクトコース卒業公演



菊華高校普通科アクトコース3年生の卒業公演が1月24日、名古屋市守山区の守山文化小劇場で開かれました。

卒業を控えた37名の出演者は、ステージでミュージック、ダンスなど、3年間に学んだ素晴らしいパフォーマンスを展開しました。会場は保護者や在校生でほぼ満席となり、盛んに拍手を送っていました。

菊武学園7学校・園で850名が卒業 新型コロナに負けず安全に工夫凝らし実施



(ほとんどの卒業生がマスクして式に臨む＝菊華高校)



(大学・合同学位記授与式。卒業生同士の間隔を広げて実施)



(ゼミ単位の少人数で、華やかに卒業を祝う＝名古屋経営短期大学)



(高木理事長と南田代表理事)



(園児もマスク姿で臨んだ卒園式＝菊武幼稚園)

菊武学園の名古屋産業大学・大学院から菊武幼稚園、稲葉保育園まで7つの学校・園の卒業式が3月、無事終了しました。約850名の学生、生徒、園児らが、学び舎を元気に巣立っていきました。

全国的に新型コロナウイルスがまん延する中、高木理事長の「一生に一度の思い出を残してあげたい」との願いから、名古屋産業大学と名古屋経営短期大学の合同学位記授与式では規模を縮小して行い、菊華高校では卒業生全員の名前の読み上げをやめ時間を短縮して実施するなど、感染防止に工夫を凝らす卒業式となりました。



(保護者の1部は2階から列席＝大学・短大)



(感染防止で教室でクラスごとに卒業式＝名古屋ウェディング&フラワービューティ学院)



(卒園式場に入れるのは、保護者1人に制限した＝菊武幼稚園)

新型コロナウイルス 学園行事に影響 東北ボランティア 交換留学も延期

新型コロナウイルスがまん延し国が初の全小中学校休学の要請する中で、菊武学園では学生、生徒の安全を第一に、いくつかの行事やイベントを中止や延期する対応をとりました。

- ◆名古屋産業大学と名古屋経営短期大学は、3月11日に予定していた学生による「東北ボランティア」を夏に延期としました。
- ◆就職活動の解禁日の3月6日予定していた「学内合同企業説明会」(29社参加予定)は5月に延期となりました。
- ◆海外姉妹校の中国湖南省の昇達大学か

(毎年実施していた東北ボランティアは延期＝写真は昨年3月、宮城県南三陸町で)

らの短期留学生6名は、渡航禁止措置で来日が困難となり中止。同じ姉妹校の台湾・育達大学と名古屋産業大学は交換留学生の受け入れを秋まで延期することにしました。

◆菊武ビジネス専門学校では3月17日に守山文化小劇場で予定していた芸術鑑賞会を延期しました。

◆菊武幼稚園は県、連盟の方針で休園にしましたが、保護者の要望にも応えて希望登園の措置も取り入れました。

